地元に寄与するアウトレットに

自民党議員団　谷　直樹

問　東部丘陵地にプレミアム・アウトレットの整備が進むが①商工会議所等と連携し、地域情報発信コーナーや特産品ショップ設置を②地元雇用創出の見通しは。

答　①三菱地所・サイモン㈱には地域物産紹介や販売を行うスペース設置の意向を伝えている。市の発展に寄与できるよう尽力する旨を聞いており、引き続き協議する②現時点で明確な数字は示せないが、基本構想は約150店舗出店の計画で、1店舗当たり10人程度の雇用が見込まれる。

問　防災拠点等の多様な機能を持つ道の駅を整備する考えは。

答　市内農業・商工業者からも、東部丘陵地整備等を活用しアウトレット客を呼び込む販売拠点設置の必要性を聞いている。全市域を視野に、方策を協議・検討したい。

市全域への防犯カメラ設置は

会派を構成しない議員　澤田扶美子

問　①市内全域に防犯カメラ設置を広げる考えは②高齢者をねらう特殊詐欺被害への効果的な事前対応は。

答　①市としては駅前広場等への設置完了段階で、自治会等により設置を進める補助金制度を創設しており、その利用促進を図っていく②多くは自宅固定電話に直接出たことに起因するため、電話機の各種防犯機能の活用が効果的。市ホームページに被害防止情報を掲載し啓発を図っている。

問　①保安上危険な市内の放置空き家の状況は②空き家活用推進による人口増加の見込みは。

答　①国指針に基づく特定空き家は非存在。非常に問題のある空き家は7件まで減少②現在まで市空き家バンク制度による市外からの転入は34世帯70人。今後も一定数の人口増を見込んでいる。

▶4月1日開署の城陽市消防本部・消防署新庁舎

職員採用試験について問う

会派を構成しない議員　本城　隆志

一斉休校要請の受けとめは

市民ネット城陽　相原佳代子

問　新型コロナウイルス感染拡大に伴い、年度末の大事な時期に国から一斉休校の要請が出された。市の受けとめは。

答　緊急校長会議を開き、冷静に対応すべく課題を共有した。子どもの安全を最優先に臨時休校の措置をとったものの、課題は山積し、卒業となる子どもたちへも心苦しい思いがある。しかしこの非常事態は国民挙げた努力で必ず乗り越えられる。拡大防止と子どもの安全、健やかな成長のためしっかり対応していく。

問　特別な支援を要する児童の就学に際し、保育園・幼稚園と小学校との連携は。

答　就学指導委員会で就学相談に対応。また各園で個別移行支援計画を作成して就学先の共通理解を図り、一貫した適切な支援に努めている。